

常任理事会だより

山川智之

本稿では、前号で報告後、2023年3月24日、4月14日、5月20日、6月23日に開催された計4回の常任理事会の内容のうち主なものをお伝えするとともに、日本透析医会の主な活動について、執筆時点の2023年6月下旬までの当会の動きとして報告させていただきます。

1. 新型コロナウイルス感染症に対する対応について

政府は2023年5月8日をもって、COVID-19についてこれまで感染症法上の扱いを新型インフルエンザ等感染症としていたものを5類感染症に移行しました。行政が全数報告の義務化を終了したこともあり、2023年5月24日時点の累積の感染透析患者数19,939人の報告を持ちまして、日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会新型コロナウイルス感染対策合同委員会による透析患者の症例登録事業を終了いたしました。

合同委員会では、新型コロナウイルス感染症に対する感染対策の情報啓発、罹患状況の把握やワクチン接種と重症度や致死率との関係、抗ウイルス薬の投与と致死率との関係などを明らかにすることができました。また、透析患者の感染対策に関する政策についても大きく関わることができました。これもひとえに、多くの地域の皆様の積極的な症例登録へのご協力のおかげであり、深く感謝いたします。

6月下旬の時点では、沖縄で感染拡大による医療逼迫が起こっているとの報道がされており、5類になった現在においても、新型コロナウイルスの感染力の高さは警戒すべきであることを再確認させられます。今後の感染状況に応じ、透析医会支部など各地域の透析専門家と自治体が協力して対応していただければ幸いです。

2. 日本透析医会総会の開催

2023年5月21日に、3年ぶりに日本透析医会総会を通常の形式で開催させていただきました。総会の決定事項等は本誌に掲載しております。今年度は役員改選期であり、今田直樹氏、黒田重臣氏、前田憲志氏、山下達博氏が理事を退任、新たに稲熊大城氏、大坪茂氏、正木崇生氏、中ノ内恒如氏、水口潤氏が理事に就任しました。秋澤忠男会長を始め、常任理事会メンバーの変更はありません。透析医療を取り巻く状況は依然厳しいものがありますが、役員一同全力で頑張りますので、ご指導、ご支援のほどを引き続きよろしくお願い申し上げます。

3. 日本透析医会研修セミナーの開催

日本透析医会研修セミナーを2023年5月21日に日本透析医会総会と同時開催で「透析医療における Current Topics 2023（東京開催）ー日本のCKD・透析医療・SDGsの視点からの再考ー」と題し対面形式で開催させていただきました。

2023年度秋期研修セミナー「透析医療における Current Topics 2023（千葉開催）」は「目を向けよう・・・我が国の透析医療を取り巻く問題」をテーマとして千葉市で2023年10月29日開催予定となっております。

4. 日本透析医会愛媛県支部の設立について

愛媛人工透析研究会より5月12日付にて日本透析医会愛媛県支部としての入会申込みがあり、これで47のすべての都道府県に日本透析医会支部が設立されることとなりました。

新型コロナウイルス感染症への取組状況

年月日	日本透析医会 新型コロナウイルス感染対策ワーキンググループ	日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会 新型コロナウイルス感染対策合同委員会
2023年 4月13日	【論文紹介 96】 「COVID-19に罹患した透析患者の3か月後の健康アウトカムについて：ERACODAデータより」（HP）	
14日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数（2023年4月12日時点）（HP）
27日		新型コロナウイルス感染症5類移行後の無症状・軽症患者の外来透析を行う際の隔離透析期間等の考え方について
28日	【論文紹介 97】※最終 「慢性腎臓病患者群におけるSARS-CoV-2ワクチン4回目接種後の免疫応答について」（HP）	透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数（2023年4月26日時点）（HP）
5月2日		〔厚生労働省〕 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更に伴う透析患者の適切な医療提供体制の確保について（HP） （別添） 神奈川県における受け入れ体制構築に関する資料
12日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数（2023年5月10日時点）（HP）
26日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数（2023年5月24日時点）（HP）※最終 新型コロナウイルス感染症透析患者の症例登録及び患者数報告の終了のお知らせとお礼（HP）